
■ さろん | Mail News 2017/7/1 | #94 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.94 2017年7月1日(土) =====

さ | ろ | ん |
└ ─ ─ ─

M | a | i | l | N | e | w | s |
└ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─ ─

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

=====

『さろん仙台ツアー』ぶじに終了しました♪

一般参加者1名とスタッフ7名の一団は下記概要にて仙台ツアーを実施しました。

初日は仙台市内から7名の初参加者を迎え、地元で初めての弊社主催による哲学カフェを開催。テラス席での対話は初めてでしたが、天気にも恵まれて爽やかな気分で対話を愉しめました。その夜は多くの地元参加者にも参加頂いて地元居酒屋で賑やかに親睦会。

翌日は地元で毎月開催されているてつがくカフェ@せんだいに一団全員で参加。弊会の対話の進め方とは全く違う地元哲学カフェでの対話を驚きと共に愉しんで、帰ってきました。

<ツアー概要>

・日程：6/17(土)から6/18(日)まで

・主な関連イベント：

a) さろん哲学：17日(土) 15:00-17:00@カフェモーツアルト・アトリエ

b) てつがくカフェ@せんだい：18日(日) 15:00-17:30@ s m t

仙台ツアー実行委員長 堀越

INDEX

- | 【1】 予約受付中：7/15 さろん哲学 第83回 テーマ：「コミュニケーション能力」
 - | 【2】 予約受付中：7/16 朝さろん〈70〉『白痴』 / 〈生きよ。堕ちよ。〉
 - | 【3】 準備中：－ さろん工房
 - | 【4】 開催の報告：6/17 さろん哲学 第82回 テーマ：「目標は持っていた方がいいのか？」
 - | 【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
 - | 【5】 関連イベント情報
 - | 編集後記
-

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第83回 テーマ：「コミュニケーション能力」

第83回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2017年7月15日（土）15:00-17:00

テーマ：「コミュニケーション能力」

進 行：野田

会 場：アンダーザマット（中目黒） <http://www.underthemat.jp/>

参加費：ワンドリンク 500円とさろん運営費 300円

定 員：16名

▽司会から：

何かと注目されているコミュニケーション能力。この機会に日ごろのコミュニケーションについて考えてみませんか。

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定などは適切にご変更願います。
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。不要の方はさろんのHP（<http://salon-public.com/>）末尾のフォームに、その旨ご記入願います

ご予約を受付中です。

salontetsugaku@gmail.com（予約担当：ヤギ林）

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

【2】朝さろん／夜さろん

朝さろん 〈70〉『白痴』 / 〈生きよ。墮ちよ。〉

先月朝さろん『還れぬ家』には新規参加者を含む10名の方にご参加いただきました。

これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 70th morning

『白痴』 坂口安吾 / 〈生きよ。墮ちよ。〉

日 時：2017年7月16日(日)9:05-12:00 ●都合により開催週を変更して行います●

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『白痴』坂口安吾（新潮文庫ほか）

無料版：（青空文庫）「白痴」http://www.aozora.gr.jp/cards/001095/files/42621_21290.html

関連資料：（青空文庫）「墮落論」http://www.aozora.gr.jp/cards/001095/files/42620_21407.html

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹沢

内 容：

- *「わざと墮落する」ってどんな意味があるんでしょう。現在の「墮落論」があるとすればどんな行為がそれに値するでしょうか。地を這うような視座を仮想し、生命力の横溢するシーズンです。
- *あらすじ 『白痴の女と火災の中をのがれ、「生きるための、明日の希望がないから」女を捨てていくはりあいもなく、ただ今朝も太陽の光がそそぐだろうかと考える。戦後の混乱と頹廢の世相さまよう人々の心に強く訴えかけた表題作など、自嘲的なアウトローの生活をくりひろげながら、「墮落論」の主張を作品化し、観念的私小説を創造してデカダン派と称される著者の代表作。』

◆朝さろん 71st morning

『今夜、すべてのバーで』 中島らも / 〈生きよ。墮ちよ。〉

日 時：2017年8月6日(日)9:05-12:00 ●お盆休み時期と重なるため開催週を変更しました●

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本 　：『今夜、すべてのバーで』中島らも（講談社文庫）

定 員：8名程度（要予約）

バリスタ（進行）：芹沢

内 容：

- *人間の生の根源、生きる力を見つめるシーズン、第2回です。
- *あらすじ 『薄紫の香腺液の結晶を、澄んだ水に落とす。甘酸っぱく、すがすがしい香りがひろがり、それを一口ふくむと、口の中で冷たい玉がはじけるような……。アルコールにとりつかれた男・小島容（いるる）が往き来する、幻覚の世界と妙に覚めた日常そして周囲の個性的な人々を描いた傑作長篇小説。吉川英治文学新人賞受賞作。』

◆朝さろん 72nd morning

「三月の 5 日間」(『わたしたちに許された特別な時間の終わり』所収)岡田利規 / 〈生きよ。墮ちよ。〉

日 時 : 2017 年 9 月 10 日(日)9:05-12:00

参加費 : 1500 円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所 : 渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本 題 : 「三月の 5 日間」(『わたしたちに許された特別な時間の終わり』所収)岡田利規(新潮文庫)

定 員 : 8 名程度 (要予約)

バリスタ (進行) : 芹沢

内 容 :

*人間の生の根源、生きる力を見つめるシーズン、完結編です。

*あらすじ 『あ始まったんだねやっぱり戦争。イラク空爆開始、渋谷のラブホで 4 泊 5 日。ブッシュがイラクに宣告した「タイムアウト」が迫る頃、偶然知り合った男女が、渋谷のラブホテルであてどない時を過ごす「三月の 5 日間」。演劇界期待 (チェルフィッチュ主宰) の新鋭、小説デビュー作。』

以上、ご予約受付中です。

salontetsugaku@gmail.com (担当 : 芹沢)

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚

<http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第 2 週の日曜 AM に開催 (場合によって開催週変更の場合あり)

《夜さろん》不定期開催

【3】さろん工房

次回イベントを準備中です

さろん工房では、次回のイベントを準備中です。

現在のところ不定期開催となっておりますが、次回もどうぞお楽しみに。

さろん工房のアーカイブや、ご要望・リクエストはこちらで受付中です。お気軽にどうぞ。

<http://salon-public.com/koubou/>

salontetsugaku@gmail.com

<https://twitter.com/salontetsugaku>

【4】 さろん哲学

第82回 テーマ：「目標を持っていた方がいいのか？」

第82回さろん哲学を下記テーマで開催しました。

日 時：2017年6月17日（土）15:00-17:00

テーマ：「目標を持っていた方がいいのか？」

進 行：堀越

会 場：カフェモーツアルト・アトリエ（仙台市青葉通一番町駅）

参加者：16名

進行から：仙台ツアーの一プログラムとして、初参加者7名を含む総勢16名で、主に目標が要る・要らない場合、夢と目標の違い等について考え、対話をしました。

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

▼さろんラボ001「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

▼さろんラボ002「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com（担当：大村）

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001 [あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第28回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際にはどちらでの開催か、会場のご確認をお願いいたします。みなさんのご参加をお待ちしています。

日時：2017年7月2日（日）10:00～12:00

テーマ：「いくらまでなら寄付できる？」をどうやって決める？

運営・進行：くらち

会場：新宿のカフェ

定員：6名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください

(Gmailが受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト <http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問 sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ：002 [哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第13回

テーマ：何があれば/無ければ『自由』になるのか？

日時：2017年7月8日（土）14:00～16:00

費用：1000円程度（ワンオーダー制）

人数：6名程度を予定

会場：『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ

(九段下駅2番出口より徒歩10分。詳細は下記URL)

http://www.satsu.jp/?page_id=9

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>

email：cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽哲学プラクティス連絡会

2017.10.21(土)-22(日)@立教大学

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

* 7/9 「てつがくカフェ@せんだい」 テーマ「〈自由〉を考える」@青葉の風テラス

* 7/22 「書評カフェ」 テッド・チャン著／あなたの人生の物語 (ハヤカワ SF 文庫)

* 8/6 「考えるテーブル てつがくカフェ」 テーマ「放射能と暮らし」@smt

* 〈3.11 以降〉読書会

▽7/1 おんころカフェ@tokyo

がんや難病の患者さんと、そのご家族のための哲学カフェです。

7月1日(土) 13:00-15:00

東京大学 医学図書館3階セミナー室

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

進行役：菊地建至（金沢医科大学 / 広い意味でいうと哲学カフェ・探Q複数の視点で考えるカフェ）

備考：ご参加は、がん・難病のご本人様、ご家族、ご遺族に限らせていただきます

参加無料、途中参加、途中退席自由
好きなお飲み物をご持参ください

主催：おんころカフェ <http://ameblo.jp/oncolocafe/>
問合せ・お申し込み：oncolocafe@gmail.com

▽7/15 Kavli IPMU Science Cafe 「加速器実験っておもしろい？」

<http://www.ipmu.jp/ja/publicevent-KIPMUSC201707>

日時：2017年7月15日（土）13:30~16:30

会場：東京大学柏キャンパス

国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構棟

対象：中学生以上（内容は高校生以上相当）

参加費：無料

定員：40名程度（事前申込み 抽選制）

申込：<http://www.ipmu.jp/ja/publicevent-KIPMUSC201707>

通知：応募多数の場合は抽選となります。

主催：国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構(Kavli IPMU)

問合せ：koukai-kouza@ipmu.jp

▽7/15 本と対話のカフェ～夏目漱石『行人』@横浜

昨年12月に没後100年を迎えた夏目漱石は、今年2月で生誕150年となりました。

僅か10年ほどの作家生活で矢継ぎ早に残した作品の数々は、なぜいまでも私たちの胸を打つのでしょうか。今回は漱石作品の中でもっとも哲学色が濃いとも言われる『行人』を取りあげ、「他（ひと）の心」が解らないと苦悩する一郎の病について、考えてみたいと思います。資料を用意しますので、『行人』をお持ちにならなくても大丈夫です。気軽にご参加ください。

7月15日（土）15:30-17:30

アーキシップライブラリー&カフェ（JR 関内駅 徒歩5分）

<https://libraryandcafe.wordpress.com/about/>

題材：夏目漱石『行人』

紹介者：三浦隆宏（カフェフィロ、相山女学園大学）

参加費：2,500円（資料、ドリンク付き、カフェフィロ会員の方は2,000円）

定員：15名程度（要事前予約）

参考図書：夏目漱石『行人』（新潮文庫）

主催：カフェフィロ

申込み：hiroizum@cafephilo.jp（廣井）

▽7/16（日）13:00 第1回『ゲンロン0 観光客の哲学』（東浩紀）読書会

双子のライオン堂書店（赤坂）

<http://ptix.co/2rxr:JhZ>

▽7/28 「旅する先に故郷あり」フルサトつなげる仕掛人 江藤誠晃

<https://glocalcafe.jp/2017-07-28/>

開催日：2017年7月28日（金）

時間：18:30- 受付開始 19:00-20:30 講演会
定員：30名 参加費：2,000円（ドリンク・軽食付き）
申込み：info@globalcafe.jp

▽7/30 テツドク！西田幾多郎『善の研究』

私たちは、行為の善・悪を語るとき、その行為した人の意志を想像します。意志のない動作は、その人の責任でしょうか。私たちは、自由に行為を選べるからこそ、そこに「倫理」を考えるのです。でも、そもそも私たちの意志はそんなに自由なのでしょうか？今回は、日本最初の哲学書と『善の研究』の一節を参考に、意志の「必然的自由」について考えます。テキストはコピーして配布し、わかりやすく説明します。気楽にご参加ください。

日時：7月30日（日）15:00-17:00

場所：Café Klein Blue <http://map.goo.ne.jp/place/13000026444/>

題材：西田幾多郎『善の研究』より第三編第三章「意志の自由」

紹介者：大熊 玄さん（立教大学、西田幾多郎記念哲学館副館長）

進行役：廣井 泉（カフェフィロ）

参加費：2000円（配布資料有り。カフェフィロ会員は1,500円）+ドリンク代（500円〜）

定員：15名程度（要事前申込み）

参考図書：西田幾多郎『善の研究』岩波文庫

申込み：hiroizum@cafephilo.jp（廣井）

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人子ども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽東京メタ哲学カフェ

毎月第一日曜に、哲学カフェ・哲学対話の運営について対話しています。

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話“ねりテツ”

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife/blank-12>

▽竹林茶話会 哲学 Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公差転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール

<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『いま世界の哲学者が考えていること』岡本裕一郎

<https://www.amazon.co.jp/dp/4478067023/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン

<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央

<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『哲学する子どもたち：バカロレアの国フランスの教育事情』中島さおり

<https://www.amazon.co.jp/dp/4309247814/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎

<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽マインドフルネス瞑想

ティク・ナット・ハン『愛する』

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1325/>

▽本のある場所（表参道）

著者自身による小説の朗読会／参加料金1000円

<http://www.honnobasyo.com/>

編集後記

メールニュース第94号をお届けします。

こんにちはフクロウです。

まだ実家で暮らしていた幼い時分、週末の朝食にトーストが出されることがありました。賞味期限間近の食パンをふつうに焼いて、ふつうにバターをつけて食べるのですが、実はわが家で「バター」と称していたものが「マーガリン」だったと知るのは小学校高学年になってから。すっかりバターだと信じてしまっていたことに驚き、「母よ！ウチのバターはバターじゃないって知ってた?!」ときくと「うん知ってるよ」とあっけらかんとした返事。その頃からでしょうか。わが家のふつうがよその家では”ふつう”でない場合がある、と知るようになったのは。「湯豆腐」に白菜やネギやシイタケやら、やたら色んな種類の野菜が入っていたのも懐かしい思い出です。

幼い時分に身を置いた環境、染み着いた感覚というのは随分後まで尾を引くものですが、先日開催されたルマン 24 時間耐久レースも、小さい頃から見続けているものの一つです。

「今年こそは！今年こそは！」と某メーカーを期待して応援し続けていますが、ことしのレースは近年でも出色の残念レース。日曜の夜明けを実に暗澹たる気分で迎えたのでした。それでも、どんな結果でも、挑戦し続ける限りは応援しようと、この時期は毎年おもっています。

そんなルマン 24 時間レースが行われていた 6/17-18 の週末、さろん仙台ツアーが開催されました。ほんとうにお天気と陽気に恵まれて、気持ちのよい 2 日間を過ごすことができました。ツアーの成果というは大げさですが、参加したひとりひとりに感じたもの、まなんだことがあったと思います。下半期のさろんの活動にも、少しづつその影響が出てくるかもしれません。

さて、2017 年も下半期のスタートです。

さろんの下期は恒例 9 月の特別例会もあります。ぜひ楽しみに♪

それではまた次号でお会いしましょう。ほう。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2017/7/1

⇒次号 (7 月 15 日発行予定)

さろん Mail News 第 94 号 / 2017 年 7 月 1 日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

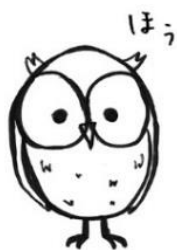
<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

◇「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。

- ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。 転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHP からご覧いただけます。
- ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
- ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
- ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
 - 「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
 - 「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>
 - 「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>



"copyright (c) 2011-2017 さろん. All rights reserved."
